



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

東

上場会社名 株式会社PKSHA Technology 上場取引所
 コード番号 3993 URL http://pkshatech.com/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)上野山 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営管理本部長 (氏名)久保田 潤至 (TEL)03-6801-6718
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	6,661	17.2	1,721	10.1	1,033	23.1	1,155	40.3	471	△6.7
2022年9月期第2四半期	5,685	35.7	1,563	110.9	839	74.9	823	87.3	505	119.7

(注) 1. 包括利益 2023年9月期第2四半期 514百万円(—%) 2022年9月期第2四半期 △405百万円(—%)

2. 2022年9月期第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年9月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	15.49	15.02
2022年9月期第2四半期	16.56	16.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	35,838	29,221	80.4
2022年9月期	35,799	29,255	80.6

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 28,799百万円 2022年9月期 28,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	13,500	17.3	3,350	11.4	1,650	5.4	1,600	3.1	650	△22.3	21.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期2Q	31,166,400株	2022年9月期	31,104,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	831,354株	2022年9月期	502,154株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期2Q	30,455,303株	2022年9月期2Q	30,523,017株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(会計方針の変更)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(企業結合等関係)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」というミッションのもと、自然言語処理、画像認識、機械学習/深層学習技術を用いたアルゴリズムの研究開発、ソリューション提供、プロダクトの拡販による社会実装を進めております。

AI Research & Solution事業では、アルゴリズム・知能化技術の事業化を行っており、パートナー企業のニーズに合わせて共同研究開発からソリューションの提供までを一気通貫で実施しております。また、実オペレーションを通じた製品/サービス開発の一環で、IoT機器からリアル空間のデータをクラウド上に収集し顧客への価値提供を実現するサービスの開発を、駐車場機器の製造販売事業を通じて行っております。

AI SaaS事業では、AI Research & Solution事業におけるアルゴリズムの開発成果をもとに、汎用的なニーズに対応するプロダクトを販売しております。AI SaaSは「顧客接点」・「社内業務」領域で利用されており、人の業務を効率化し能力を拡張していく形で、ビジネス支援や企業の課題解決を実現しております。

当第2四半期連結累計期間は、AI SaaS領域における顧客基盤の拡大とプロダクトの機能拡充を目指す成長戦略のもと、AI SaaS事業下にある連結子会社間の協業の取り組みを推進してきた結果、AI SaaSの導入社数及び年間経常収益を着実に積み上げております。また、今後の成長に向けて優秀な人材の採用を進めるとともに、ソフトウェアプロダクトの強化や研究開発などの先行投資に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,661,749千円(前年同四半期比17.2%増)となりました。これは主に、AI SaaS事業において各種プロダクトの販売が拡大したことによるものです。また、AI Research & Solution事業においてソリューション案件が堅調に推移したとともに、モビリティ事業でアフターコロナが意識されて需要が回復基調となりました。

営業利益は1,033,472千円(前年同四半期比23.1%増)となりました。これは主に、売上高が増加したことに加え、収益性の高いAI SaaS事業が高い成長率を維持していることで売上高構成比が高まったことによるものです。

経常利益は1,155,437千円(前年同四半期比40.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は471,813千円(前年同四半期比6.7%減)となりました。これは営業利益の増加に加えて、当第2四半期連結会計期間において、当社の子会社である合同会社PKSHA Technology Capitalがスパークス・グループ株式会社と共同運営するPKSHA SPARXアルゴリズム1号投資事業有限責任組合の一部投資先の株式売却等で、持分法による投資利益208,138千円を計上したことによるものです。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(AI Research & Solution事業)

AI Research & Solution事業につきましては、パートナー企業からのニーズに対応するアルゴリズムソフトウェアの研究開発やソリューション案件の売上が堅調に推移しました。また、モビリティ事業において、顧客である駐車場運営会社の新規駐車場開設への投資意欲が一部改善し、駐車場機器の販売が前年同四半期比で増加しております。

この結果、売上高は3,766,510千円(前年同四半期比13.8%増)、セグメント利益は584,377千円(前年同四半期比40.5%増)となりました。

(AI SaaS事業)

AI SaaS事業につきましては、AI SaaSの導入による業務の高度化・自動化を進めるニーズが拡大している環境の中で、自動応答エンジンを中心にAI SaaSの新規受注とライセンスの積み上げを進めてまいりました。AI SaaS事業下にある連結子会社間の協業の取り組みを推進し、新規顧客の獲得及び既存顧客への相互送客等を通じて売上ならびに利益の成長に繋げております。一方で、今後の成長に向けて人件費を中心とした積極的な先行投資を実施しております。

この結果、売上高は2,898,839千円(前年同四半期比21.9%増)、セグメント利益は890,527千円(前年同四半期比27.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は35,838,005千円となり、前連結会計年度末に比べ38,600千円増加しました。流動資産は15,827,150千円(前連結会計年度末比604,226千円増)となりました。主な増加要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が424,940千円、その他が216,294千円増加したことによるものであります。また、固定資産は20,010,855千円(前連結会計年度末比565,626千円減)となりました。主な減少要因は、のれんが241,072千円、顧客関連資産が176,260千円、投資有価証券が91,684千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は6,616,306千円となり、前連結会計年度末に比べ72,721千円増加しました。主な増加要因は、長期借入金350,845千円減少したものの、未払法人税等219,881千円、その他(流動負債)が126,751千円、繰延税金負債が91,141千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は29,221,699千円となり、前連結会計年度末に比べ34,121千円減少しました。主な減少要因は、利益剰余金471,813千円、その他有価証券評価差額金24,402千円増加したものの、自己株式を558,416千円取得したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年11月14日に公表した2023年9月期連結業績予想を下記の通り修正します。

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,300	3,300	1,600	1,300	500	16.42
今回修正予想 (B)	13,500	3,350	1,650	1,600	650	21.34
増減額 (B-A)	200	50	50	300	150	—
増減率 (%)	1.5	1.5	3.1	23.1	30.0	—
(参考)前期連結実績 (2022年9月期)	11,509	3,006	1,565	1,551	836	27.38

修正の理由

- ・売上高は、AI SaaS事業において各種プロダクトの販売が拡大したこと、AI Research & Solution事業においてソリューション案件が堅調に推移していること、さらにはモビリティ事業においてアフターコロナが意識されて需要が回復基調となったことを背景に、13,500百万円に上方修正しております。
- ・EBITDA及び営業利益は、売上高の増加による利益改善により、新たな予想をそれぞれ3,350百万円、1,650百万円としております。
- ・経常利益は、当第2四半期連結会計期間において、当社の子会社である合同会社PKSHA Technology Capitalがスパークス・グループ株式会社と共同運営するPKSHA SPARXアルゴリズム1号投資事業有限責任組合の一部投資先の株式売却等で、持分法による投資利益208百万円を計上したことを受け、新たな予想を1,600百万円としております。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益及び経常利益予算の変更理由等により、新たな予想を650百万円としております。
- ・1株当たり当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の予想の変更に準じて増加しております。

なお、上記業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,495,623	12,430,114
受取手形、売掛金及び契約資産	1,475,334	1,900,275
原材料及び貯蔵品	497,861	530,701
その他	769,717	986,012
貸倒引当金	△15,614	△19,953
流動資産合計	15,222,923	15,827,150
固定資産		
有形固定資産	1,312,316	1,318,414
無形固定資産		
のれん	5,464,157	5,223,085
顧客関連資産	5,084,520	4,908,259
その他	950,717	991,796
無形固定資産合計	11,499,395	11,123,141
投資その他の資産		
投資有価証券	6,732,180	6,640,495
繰延税金資産	836,610	734,887
その他	195,979	193,915
投資その他の資産合計	7,764,769	7,569,299
固定資産合計	20,576,481	20,010,855
資産合計	35,799,405	35,838,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	337,492	355,842
1年内返済予定の長期借入金	661,690	681,690
未払法人税等	179,292	399,174
契約負債	315,753	257,712
賞与引当金	81,430	81,871
その他	987,642	1,114,393
流動負債合計	2,563,300	2,890,683
固定負債		
長期借入金	3,067,800	2,716,955
繰延税金負債	811,916	903,057
その他	100,567	105,609
固定負債合計	3,980,283	3,725,622
負債合計	6,543,584	6,616,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,295	53,995
資本剰余金	25,147,962	25,152,663
利益剰余金	4,256,679	4,728,492
自己株式	△1,197,416	△1,755,833
株主資本合計	28,256,520	28,179,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	595,297	619,700
その他の包括利益累計額合計	595,297	619,700
新株予約権	1,462	1,442
非支配株主持分	402,540	421,238
純資産合計	29,255,820	29,221,699
負債純資産合計	35,799,405	35,838,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	5,685,039	6,661,749
売上原価	2,884,432	3,265,187
売上総利益	2,800,606	3,396,561
販売費及び一般管理費	1,961,294	2,363,089
営業利益	839,311	1,033,472
営業外収益		
受取配当金	31,618	32,693
受取家賃	3,783	2,095
持分法による投資利益	—	93,267
その他	7,677	20,401
営業外収益合計	43,079	148,457
営業外費用		
支払利息	22,177	18,759
株式交付費償却	13,041	—
持分法による投資損失	13,124	—
その他	10,412	7,733
営業外費用合計	58,755	26,492
経常利益	823,636	1,155,437
特別利益		
投資有価証券売却益	999	—
特別利益合計	999	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	90,636
固定資産除却損	403	—
特別損失合計	403	90,636
税金等調整前四半期純利益	824,232	1,064,800
法人税、住民税及び事業税	353,114	396,511
法人税等調整額	△53,638	177,777
法人税等合計	299,476	574,288
四半期純利益	524,756	490,511
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,167	18,698
親会社株主に帰属する四半期純利益	505,589	471,813

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	524,756	490,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△929,948	99,915
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△75,513
その他の包括利益合計	△929,948	24,402
四半期包括利益	△405,191	514,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△424,358	496,215
非支配株主に係る四半期包括利益	19,167	18,698

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	824,232	1,064,800
減価償却費	268,429	271,001
のれん償却額	241,072	241,072
顧客関連資産償却費	214,690	176,260
持分法による投資損益(△は益)	14,984	△93,267
投資有価証券評価損益(△は益)	—	90,636
支払利息	22,177	18,759
株式交付費償却	13,041	—
売上債権の増減額(△は増加)	△165,335	△424,940
棚卸資産の増減額(△は増加)	△23,168	△44,893
前払費用の増減額(△は増加)	△98,356	△264,808
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,923	18,349
契約負債の増減額(△は減少)	30,892	△59,621
未払金の増減額(△は減少)	△20,250	△3,042
未払費用の増減額(△は減少)	147,444	135,034
その他	△58,607	△69,005
小計	1,407,321	1,056,336
利息及び配当金の受取額	32,391	32,746
利息の支払額	△22,848	△19,711
法人税等の支払額	△486,030	△183,537
法人税等の還付額	481,824	93,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,412,658	979,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△103,878	△96,931
無形固定資産の取得による支出	△164,312	△203,493
投資有価証券の取得による支出	△729,541	△125,464
投資事業組合からの分配による収入	—	203,840
その他	72,478	56,949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△925,254	△165,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△330,845	△330,845
株式の発行による収入	11,204	9,380
自己株式の取得による支出	△74	△558,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△319,715	△879,880
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	167,689	△65,509
現金及び現金同等物の期首残高	12,804,730	12,495,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,972,419	12,430,114

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	AI Research & Solution	AI SaaS	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,309,772	2,375,266	5,685,039	—	5,685,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,000	3,000	△3,000	—
計	3,309,772	2,378,266	5,688,039	△3,000	5,685,039
セグメント利益	415,969	698,000	1,113,969	△274,657	839,311

(注) 1. セグメント利益の調整額△274,657千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2. 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」の「比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	AI Research & Solution	AI SaaS	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,766,510	2,895,239	6,661,749	—	6,661,749
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,600	3,600	△3,600	—
計	3,766,510	2,898,839	6,665,349	△3,600	6,661,749
セグメント利益	584,377	890,527	1,474,904	△441,432	1,033,472

(注) セグメント利益の調整額△441,432千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2021年5月31日に行われた株式会社PKSHA Associates (旧社名 株式会社アシリレラ) との企業結合について、前々第3四半期連結会計期間から暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されました。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、顧客関連資産償却額が122,389千円増加し、のれん償却額が56,746千円、法人税等調整額が42,333千円減少しました。これらに伴い、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が65,642千円、四半期純利益が23,308千円、非支配株主に帰属する四半期純利益が8,005千円減少しております。

なお、のれんの償却期間は10年、顧客関連資産の償却期間は11年です。

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2021年6月30日に行われた株式会社PKSHA Communicationとの企業結合について、前々第3四半期連結会計期間から暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されました。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、顧客関連資産償却額が92,301千円増加し、のれん償却額が80,500千円、法人税等調整額が31,926千円減少しました。これらに伴い、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が11,801千円減少し、四半期純利益が20,125千円増加しております。

なお、のれんの償却期間は15年、顧客関連資産の償却期間は20年です。